

「春花秋実」

校長通信 3 号 長田 芳子

校歌の 3 番「もみじに染まる秋の山 風吹きすさぶ雪の道・・・」とあるように、季節は変わり
実りの秋になりました。読書、スポーツ、食欲と様々な「秋」を満喫するワードがありますが、
皆さんにとっての「秋」はどれがあてはまるのでしょうか。

この時期は自分の夢、適性など色々な面から自分を見つめ、悩み、納得した選択をしなければなら
ない時期です。誰かが言っていました「今があるから未来
がある」。今すべき事に一生懸命取り組むこと、そこから自
分の道が見えてくるのではないのでしょうか。よくよく考えて
コース、科目を選択して下さい。

☆ 1・2 年、コース・科目選択について

2 年生は、コースごとの科目選択、
(進路に向けて具体的な科目選択)

1 年生はコース選択をします。

4 つのコースから自分の進路に合った

コースを選択することになります。

- ①進学コース
- ②地域創造コース（理系ほか）
- ③地域貢献コース（文系ほか）
- ④福祉コース

「地域Ⅱ」で開発した「とんぎゅう君」です。



東京五輪カヌー競技主将本田大三郎先生からカヌーを学ぶ

2 年生の地域コース生徒は、今月計 3 回 6 時間、女神湖でカヌーを体験
しました。9 月 13 日（日）に開催されたカヌー駅伝大会には、本校野球
部の生徒がチームを組み出場、見事優勝するまでに腕を上げました。「本田
大三郎」先生のご指導、ご協力により実現できた成果です。

女神湖の素晴らしい環境が、カヌーを行うには絶好の湖であると本田先生
のお目に留まり、お声をかけて頂き、一から丁寧に教えて頂く機会が持てました。
生徒たちが、水に濡れることも気にせず颯爽と湖に乗り出していき姿を見て、森
に囲まれた自然の中で、水と戯れ、風を感じられるカヌーをいち早く体験できる
のも、蓼科高校ならではと思えました。本田先生だけでなく女神湖関係者の
方々、地域のインストラクターの方々のご指導に感謝の気持ちでいっぱいです。
近い将来、女神湖がカヌーのメッカになるのではないかと期待で胸が膨らみます。

最終日は、あいにくの雨降りですが体験ではなく、本田先生の講義をお聞きしま
した。何かをとことん「好きになる」ことが道を究めるとの力強い第一声から、ご
自分の幼い頃の経験や熱い思いを生徒にぶつけるようにお話して下さいました。
「人は心、花は芯」「よく吟味し、よく工夫し、よくよく鍛錬し、正々堂々と競
技し勝つ」多くの心に残ることばと共に、年齢を重ねても衰えることのない情熱
に圧倒された 1 時間でした。競技をとことんやりきった、道を究めた方の情熱に
触れることができ（まだまだカヌーを通して様々な企画が頭にあるそうです。）
生徒たちの心に、火が灯り、大きな熱を発するような燃える力になることを楽し
みにしています。

（本田大三郎先生は、サッカーの本田圭祐選手の大叔父さまです。）